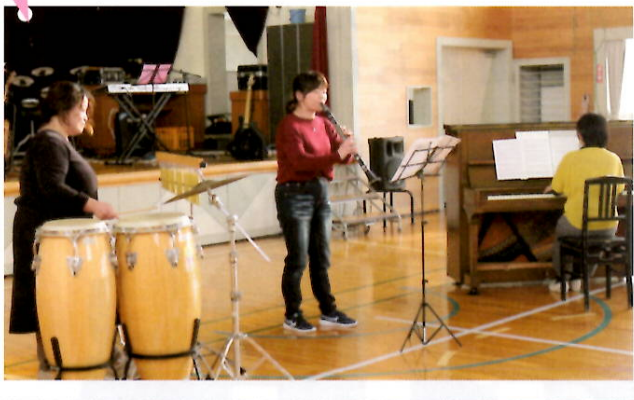




農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんべつ



豊原音楽祭が旧豊原小学校で12月15日(日)に開催されました。

今年で11回目を迎え、冬の恒例行事となった音楽祭には、園児の合唱やリコーダーや和太鼓、バンドなどたくさんのジャンルの音楽が奏でられました。

  
JA中春別

## 2月号

2020 Vol. 505

## 第11期みらい塾修了式

# 明日につながる酪農を

令和元年度第11期生みらい塾修了式が1月16日(木)、農業者団地センターで行われました。

みらい塾第11期生は3人の受講生のもと1年間、全15回に渡って講座を実施し

室事業所、ジェネテイクス北海道東事業所、(株)なかしゅんべつ未来牧場、(中

ただきました。

その後、修了生の3人は西川塾長より修了書を受け取り、修了生を代表して美原地区の西原康陽さんより「みらい塾を通じてお世話になった関係機関、農家の皆様に感謝の気持ちを忘れず、座学や現地視察で学んだことを今後の経営に活かしていきたい」と力強い言葉を送りました。

春別マシンセンターの来賓の方々ご臨席の中、西川塾長より挨拶をいただき、続いて来賓を代表して根室農業改良普及センター伊藤次長よりお祝いの言葉をい



ました。

農協の組織について、関係機関、各農場の協力のもと経営管理や酪農技術について多くのことを学んできました。

当日は、お世話になった関係機関の根室農業改良普及センター、酪農試験場、北海道酪農検定検査協会根



# 受講生修了レポートを紹介

みらい塾を終えて



西原 康陽

活動としては3月の視察研修を残すところとなりましたが、これまで15回活動して、どれも今後に役立つといくと感じていきます。

座学で知識を習得し、最新の機器を視察

まず始めにみらい塾の開催に尽力していただいた農協、関係機関の皆様にお礼申し上げます。みらい塾の



視察に関しては、最新の機器を導入したロボット牛舎、フリーストールパーラー牛舎など、これからの酪農のモデルとなるような施設を、見学させていただきました。最新の機器を導入することで、

労働者不足、過度な労働時間などの解決にも繋がると感じました。

酪農情勢が年々変わって行く中でより良い経営を目指して、目の前のことからコツコツとやっていくことが大事だと、この1年を通して学ぶことができました。



みらい塾を終えて



西川 寛樹

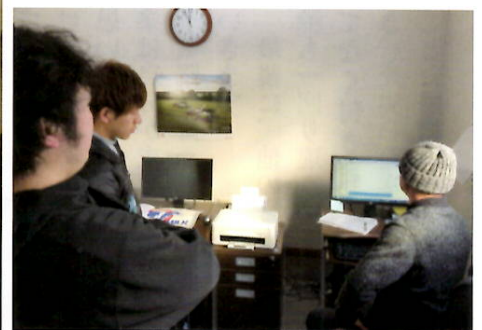
き農協、関係機関の皆様にはお世話になるところも多いと思いますので、今後ともよろしく願います。

この1年間、みらい塾第11期生として参加し、たくさんのお話を学ばせていただきました。

最初に農協組織や各部署の役割などを知り、農協という組織のありがたさ、大変さを知りました。

酪農家としての知識の必要さと大切さ

そして、関係機関の様々な講習会にも参加し、改めて酪農家として必要な知識の大切さや多さに驚きました。地区内の農家さんへの視察も、個人個人で全く



違っており、とても勉強になりました。本当にありがとうございました。

みらい塾も第11期目ということでなかなか人も集まらなかったようで、今回参



加した3人は、すでに家を継いでいたり、家の仕事で忙しい、などで中々出席できないことがあり、授業回数はそう多くはなかったと思います。すが、すべての授業が大変になりました。今回、学んだことを生かし、酪農にたずさわってみたいと思います。

最後に農協職員、関係機関、農場視察を受けてくださった酪農家の皆様には大変お世話になりました。お忙しい中、本当にありがとうございました。これからも引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします。

### みらい塾を終えて



佐々木克典

まず始めにみらい塾第11期生として関係者各位に

は、この1年間ご指導とご協力いただいたことに深く感謝いたします。

**酪農の知識と勉強の他、これからの経営に幅広い知識が必要**

昨今の酪農情勢を見るに、酪農者の問題や国際社会におけるグローバルイズム

が進む中で、農業生産現場が大きく揺れている今、我々生産者は様々な選択を迫られます。酪農分野での勉強は当然ではあります。が、他業種と比べて課題が多く、一般社会における常識や教養など、これからの経営には幅広い知識が求められるのではないかと思います。具体的には、産業全般において



必要な経済学や、外国人材の活用や貿易に関する地政学、最先端技術への知見などあげればキリがありません。

経営者として自己の経営のみならず、農業全体、社会全体を俯瞰して見なければ、これからの発展

は難しいと感じます。まだまだ自身の勉強不足を感じており、これからも学び続けることが必要だと改めて思いました。これからの農業は自分が支えていくという気概を持って日々励んでいきます。

最後に、他の2人とは年齢も一回り違う中で分け隔てなく付き合っていたいただき、充実した学習ができたことに感謝いたします。





北海道初！ 枝肉共励会で堂々の2連覇!!

# (有)寺井牧場が快挙 枝肉共励会で最優秀賞を獲得

令和元年12月7日(土)、帯広市の(株)北海道畜産公社道東事業所十勝工場にて令和元年度北海道枝肉共励会が開催されました。この枝肉共励会は日頃の肥育成果の集大成として選りすぐりの肉牛を出荷し、専門家の審査を受けて技術的な勉強を行うために開催される品評会で、今年度の黒毛和牛の

部には全道から140頭(雌43頭、去勢97頭)が出品されました。この中から、美原地区の(有)寺井牧場(寺井隆二代表取締役)が出品した「安百合」号が最優秀賞を獲得し、寺井氏の最高位受賞は昨年



が始まって以来初の快挙を達成しました。今年度、頂点に輝いた「安百合」号は枝肉重量575



kg、格付けはA5、BMS No.12で三代祖は美津百合「安福久」平茂勝でした。本牛は昨年の共励会にて最優秀賞を獲得した「幸福平」号(幸紀雄「安福久」平茂勝29カ月齢、568kg)の異父兄弟で平成29年5月26日生まれ、去勢30カ月齢で出品されました。審査委員長からは「枝肉の張りが抜群で目を見張るものがある」と最高の評価を受けました。



昨年に引き続き、2頭の最高位牛を産出した母牛のふくえ号は登録得点82・5点を有し、美国桜にて採卵を実施した後、現在は幸紀雄による産子を妊娠中とのこと。

本来であれば、2連覇という快挙をお祝いし祝宴の席を設けたいところでしたが、中春別和牛研究会の忘年会に祝賀会を兼ねてもらいたいとご本人からの希望があり、昨年12月10日に中春別農業協同組合後援のもと、祝賀会を兼ねた忘年会が開催されました。寺井さんからは「初めて



挨拶を述べる寺井さん

参加者からは3連覇!という激励の言葉も聞こえ、血統の選び方や育て方など熱心に質問するなど、とてもにぎやかなひと時となり、祝賀会は盛会裏のうち

橋本幸二さん所有

アビリティファーム カトレア ピーターチエ



# 自家生産牛8代連続 エクセレント達成!



昨年11月に行われました北海道ホルスタイン農業協同組合による体型審査において、美原地区の橋本幸二さん所有の「アビリティファーム カトレア ピーターチエ」号がエクセレントを獲得し、日本初となる自家生産牛8代連続エクセレントを達成されました。

橋本さんの所有する牛は、4年前にも同ファミリーで同一牧場7代連続エクセレントを日本で初めて達成しており、記録を更に伸ばした結果となりました。

これまでエクセレントを獲得してきたファミリーの遺伝子を脈々と継承しており、素晴らしい乳器と体高の数字以上に大きく見せる雄大な体躯は、血統的な裏付けと熱心に乳牛改良に励んだ成果に表れています。

今後、このファミリーの更なる繁栄と、新たな記録の樹立に立ち会えることを願っています。

**アビリティファーム カトレア ピーターチエ EX90 8代EX**

(07-02) H24.9.9生 所有者 **橋本 幸二**

06-00 299 M11,039kg F3.8% P3.6% SNF9.1%

父:レデスマナー ルビー D シヤウト ET

母(7代):アビリティファーム ミンティア ピーターチエ EX90

6代:アビリティファーム ジャスミン ピーターチエ EX91

5代:アビリティファーム アクトレス ピーターチエ EX91

4代:アビリティファーム ストーム ピーターチエ EX92

3代:アビリティファーム リンデイ ピーターチエ EX90

2代:アビリティファーム ポテント ピーターチエ EX92

初代:アビリティファーム クリス ピーターチエ EX91

当青年部より2人が参加し、全道各地から800人ほどが参加しました。第68回青年部大会は、スローガンを「Exciting Innovation」

「猪突農進！」と題し、盛大に開催されました。

1日目は「青年の主張」「活動実績発表」が行われ、各地区の代表者が農業に対する熱い想いや、盟友との活動を通して感じている想い、未来への目標などの発表が行われました。

また、「分科会」では分野ごとに講師を迎え講演会が行われ、酪畜班では「ミルクの価値を高めるために共同戦略と酪農家に期待すること」と題し、一般社団法人Jミルクより前田浩史氏を迎え、Jミルクの役割、牛乳や乳製品の消費普及や巷でのマーケティング、近年、取り沙汰されていますアンチミルクへの正しい知識の啓蒙活動など、常に酪農家、関連産業に寄り添った活動を知る事ができ、まさに「Jミルク」の役割の重要性を再認識する講演となりました。

全体懇親会では、「アームレスリング大会」、「純農ボーイコンテスト」が行われ、交流を深めました。

2日目の基調講演では、全道で161店舗を運営しているすせいコーマート、

## Exciting Innovation～猪突農進!～

第68回全道JA青年部大会が札幌パークホテルにて、12月5(木)～6日(金)開催されました。



株式会社セコマの丸谷社長による講演が行われ、地域密着企業としての使命、道内農畜

水産物を活用したオリジナル商品の開発、過疎地域への出店事例など、道内では貢献度の高い有名企業のリーダーの講演に盟友一同、話に聴き



入ってしまうほどの興味深い内容でした。

基調講演後には本大会に移り、表彰式や大会宣言の上程、各地区会長によるスピーチ、ガンパロウ三唱が行われ、盟友の心は一つになりました。

今回の全道大会を通じて得た経験や刺激を活かして、今後の営業、青年部活動がさらに活発になるよう、努めていきたいと思えます。

(青年部・片岡卓也)

## 青年部の活動をピックアップ

### 青年部新年交礼会

新たな一年の幕開け  
力強い青年部活動を



新年を迎え、農協より西川組合長をはじめ多くの来賓の方々、中春別酪農対策協議会より山崎会長、別海町議会より西原議長にご出席をいただき、青年部新年交礼会を1月9日(金)に北平系会館にて盛会に開催されました。

開催にあたり山田青年部長の挨拶、西川組合長より新年のご挨拶をいただき、山崎酪対会長の乾杯の音頭で開会いたしました。乾杯と共に食事を楽しみながら、新年初顔合わせの部員同士やご出席いただいた来賓の方々と、日々の営業や酪農情勢といった仕事の話や、プライベートな話に華を咲かせ、終始賑やかな雰囲気の中、交礼会が進められました。最後に西原議長よりご挨拶をいただき、一本締めにて新年会の幕は閉じました。



仲間たちと楽しい時間を過ごしました

女性部新年交礼会が、別海町郊楽苑にて1月15日(水)に開催されました。



新年の挨拶を述べる南澤女性部長

農協より西川組合長をはじめ、西原町議会議長、山崎酪対会長を招いての開催

となりました。

南澤女性部長が新年の挨拶と抱負を述べられ、参加者30人が新年の挨拶を交わし、西川組合長、西原町議会議長よりそれぞれ挨拶をいただき、山崎酪対会長の

中春別農協女性部 新年交礼会

乾杯で新年交礼会がスタート、美味しい食事をとりながら仲間たちとの会話に花

が咲きます。食事がひと段落したところで毎年お楽し



みのゲーム大会が始まり、値段あてゲームでは「しやぶしやぶセツト」、「お酒とおつまみセツト」、「ホツトひと息セツト」という名前で作ったそれぞれのセツトごとの合計金額を予想し、何と10数円差での回答が飛び出し、



挨拶を述べる西川組合長



山崎酪対会長による乾杯の音頭



挨拶を述べる西原町議会議長



会場からは歓声と拍手が沸き起こりました。また、ピング大会では全員外れなしで景品を獲得することができ、更に今年



1等賞とブービー賞の特別賞があり大いに盛り上がりました。今年も最後まで笑顔の絶えない素敵な時間となりました。



女性部の活動をピックアップ



# 後継牛確保のための繁殖戦略

近年の生乳価格と個体販売価格の高騰により、所得は増加しているものと推定されます。しかし、今後の価格がどのようなように推移するかは不透明な状況です。この状況下においても、後継牛を十分に確保することはとても大切なことです。特に施設投資により規模拡大を図った農場では、経営改善計画とおりの増頭を確実に実践する必要があります。そこで今回は、後継牛を計画的に確保するための繁殖戦略を一緒に考えてみます。

## 1 目的に沿った交配計画を！

根室管内では雌雄判別精液（以下、判別精液）や和牛精液の利用が増加しています（表1）。また、受精卵移植技術（以下、ET）が向上するなど新しい技術を経営内に取り入れている農場も増えていきます。各精液や技術の特徴は表2のとおりです。目標とする頭数を確保するためには、闇雲に判別精液や和牛精液・受精卵を使用するのではなく、戦略的に増殖計画を立てて適正頭数を確保する必要があります。例えば、規模拡大中で



写真1 旧牛舎をほ育施設に改造し保有頭数を拡大

表1 根室管内での判別精液利用と和牛交配の状況（根室生産連より）

	H20年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
和牛交配率(%)	14.2	18.3	20.8	21.5	22.7	24.8
判別精液利用率(%)	1.4	6.7	7.4	10.4	12.9	12.6

表2 各精液・技術の特徴

精液・技術	特徴
通常精液	雌の確率50%前後
判別精液	雌の産み分けが90%
和牛精液	生まれたF1、和牛で付加価値
受精卵移植	

しまい後継牛が残らないということも実際に起こっています。

あれば既存の施設で増頭分を管理できるか、預託を利用するかを考える必要があります（写真1）。また、和牛精液を活用する場合、和牛精液を付けすぎると分婉間隔は同じ条件に統一してしまいます。

## 2 管内の活用事例について

管内で判別精液と和牛精液を有効に活用している事例を紹介します（図1）。各農場を比較しやすくするために、頭数規模と分婉間隔は同じ条件に統一してあります。管内の現況は、判別精液利用率と和牛交配率（H28年）を用いて、ホルスタイン種の雌と雄、F1・ET幼牛の頭数を算出しました。

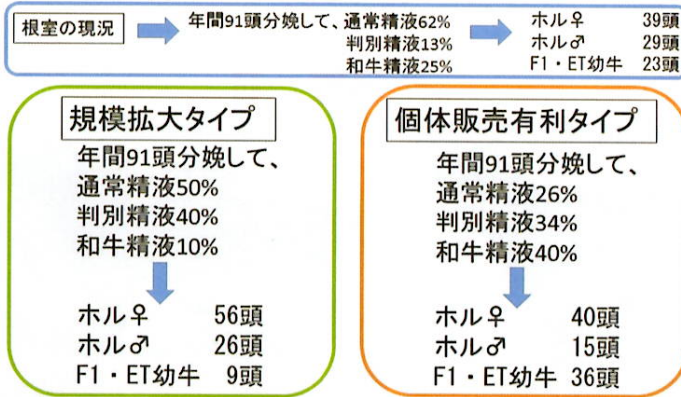


図1 根室管内の判別精液や和牛精液を活用した事例（経産牛100頭、分婉間隔400日の場合）

## 3 まとめ

経営の方針に基づいた精液や授精方法の選択によって、搾乳牛の適正頭数を確保することが重要です。繁殖戦略を考えると、牛群に残す牛をどこで決めるかが肝要になってきます。受胎が遅れた牛を長く農場に残した場合、過肥や周産期のトラブルにつながり、増頭・更新計画に支障がでてしまいます。農場内で必要なホルスタイン種雌子牛の頭数を把握した上で、適時淘汰を行いましょ。

規模拡大タイプでは、頭数に必要な後継牛を判別精液を活用し確保しやすくしています。農場内で管理できない育成牛は町営育成牧場に預けています。個体販売有利タイプでは、通常精液と判別精液、和牛精液の3種類をうまく活用しています。経産牛には通常精液と判別精液を使い、初産牛に判別精液と和牛精液を使い、雌子牛を確保しつつ、F1・ET幼牛を生産し個体販売で利益を上げていきます。





第39回 未経産クラス (9カ月～12カ月)

# 写真コンテスト結果発表

中春別乳牛改良同志会(寺澤佳吾会長)主催で行いました第39回写真コンテスト予想投票は、多数の応募がありました。

序列付けを美原地区山田侑甫さんをお願いし、正解は、**F→E→B→C→D→A**となりました。

残念ながら全問正解者はいませんでした。抽選の結果、一条有希さん、高椋崇さん、大下俊治さん、成田めぐみさん、佐々木貴子さん、芳澤颯一さん、真部千歳さん、石黒瑞歩さん、小菅加奈子さん、三浦公太さんに賞品を贈呈いたしますのでJA中春別畜産課畜産指導係までおこし下さい。

## 《講評》

未経産クラス6頭の好評ですが、序列はF→E→B→C→D→Aとさせて頂きました。

トップしましたF号牛ですが、この6頭の中で最もコンディションが良く、バランスの良い乳用成に富んだ牛と感じましたのでトップさせて頂きました。

2位しましたE号牛ですが、接近しておりトップ2頭は迷う牛でありました。この牛もまたバランスの良い、中躯も充実した牛ではございますが、今回のところF号牛の方がより各部の鮮明さ質感、下けん部の深さにおいて優れていると判断させて頂きました。しか

しながらコンディションによっては十分1位と入れ替わられると評価しております。

3位にしましたB号牛ですが、この6頭の中で最も尻の構造に優れており、また質感の良い牛でありましたが、今回のところ2位の牛のほうがより体長、胸の深さ、移行のスムーズさにおいて優れていると判断致しました。

4位しましたC号牛ですが、体長に優れ、首と足の長さもあり、移行の良い牛でありましたが、今回のところ3位の牛の方がより正確な尻の構造、中躯の充実、鋭角性、四肢の繋ぎの強さにおいて3位の牛の方が優れていると判断致しました。

5位しましたD号牛ですが、肋の方向が良く首の長い牛ではありましたが、今回のところ4位の牛のほうがより胸が深く、肩の薄さ、後肢の側望、腰の強さにおいて4位の牛の方が優れていると判断いたしました。

6位にしましたA号牛ですが、中躯が長く、体長のある牛でありましたが、今回のところ5位の牛の方がより胸、中躯の深さ、後肢の垂直さ、き甲部の高さにおいて5位の牛の方が優れていると判断させて頂きましたので、この様な序列とさせて頂きました。

ありがとうございました。

1位 F



2位 E



3位 B



4位 C



5位 D



6位 A



旧豊原小学校の体育館で昨年12月15日(日)、豊原音楽祭が開催されました。

今年で11回目を数える音楽祭に、早くから地域の人たちが集まりました。始めに豊原へきち保育園の園児たちが歌と踊りを披露。12月にびつたりの「赤鼻のトナカイ」を大きな声で歌いました。園児たちがパプリカの衣装を着て、パプリカ

の曲に合わせて楽しそうに踊る姿に、会場は笑顔に包まれました。その後は小学生の発表が行われ、ピアノ演奏、中春別りコーダー同好会による全道大会の出場曲を演奏しました。全道大

会での素敵な演奏が楽しみです。

アンサンブルでは「アナと雪の女王」を披露し、会場の子供たちが笑顔になり、思わず踊ってしまうほど、楽しくなる演奏でした。

後半に入り、小学生バンド Dandee-ion。発表したのは「パプリカ」で、クールに歌いながらの演奏を披露しました。続いて中学生の2人組バンド、青研



豊原音楽祭

音楽でつながる地域の輪



最後に、朝ドラでおなじみのスピッツ「優しいあの子」を「MOM」がバンド

バンドがアツプテンポな曲に合わせて会場を盛り上げました。そして、「チーム響」による和太鼓演奏では、「響青乱太鼓」が披露され、迫力ある和太鼓の音が、会場に響きました。

演奏し、豊原の冬の恒例行事「音楽祭」の幕が閉じました。参加された皆様、お疲れさまでした。





# 大好きなクリスマスソングに 合わせて、歌って踊りました

中春別保育園  
第5回クリスマスコンサート

中春別保育園第5回クリスマスコンサートが、昨年12月20日(金)に開かれました。



子どもたちが作ったクリスマス飾りがステージを彩り、クリスマスコンサートがスタートしました。始めに、ひよこ・ことりによる、歌「ジングルベル」、遊戯「赤鼻のトナカイ」が披露されました。赤と緑のところが帽子をかぶって元気いっぱい、見ている人も楽しめる発表でした。続いてはな組は手遊びで「とんとんクリスマスパレード」と、遊戯「クリスマス・シャンシャン」を発

表しました。手に付けていた鈴が手振りをするたびに、綺麗な音が鳴って、クリスマスにぴったりでした。



最年長のほし組では、なんと「星に願いを」を英語バージョンで披露。難しい英語を練習した成果を発表し、会場には大きな拍手が鳴り響きました。ダンスでは、「ジングルベルロック」を飾りのついた輪を持って、リズムカルで息がぴったりの発表となりました。全園児による合唱では、「あわてんぼうのサンタクロース」を全員で大きな声で歌いました。最後に先生たちによる「Story」の曲に合わせ

た、ハンドベルのパフォーマンスが行われ、クリスマスコンサートは、幕を閉じました。



中春別へきち保育園 乗馬体験

初めて乗るポニーに大はしやぎ

風が強い中、中春別へきち保育園お楽しみ会の「親子乗馬体験」が12月13日(金)



に行われました。

子供たちは、ポニーを目の前に、「大きいー」と、ワクワクした様子で順番を待ちました。乗る時も、「怖いよー、落ちそう」と不安がっていました。乗ると「楽しい、もう1回乗りたい」とにっこり。

馬に乗るのが怖いという子に、ポニーが引く馬そりに乗って楽しみました。寒



さも忘れてはしゃぐ子供たち。ポニーと触れ合い、親子で貴重な体験となりました。



認定子ども園中春別保育園・豊原保育園 スケート教室

寒さも忘れ、スケートを楽しみました

中春別地区スケートリンクで1月17日(金)から18日(土)にかけ、別海町スポーツセンターから2人の講師に招き、保育園児スケート教室が行われました。

最初に帽子と手袋を確認をし、父兄の見守る中、スケート教室がスタートしました。

講師が姿勢や足の向き、安全な転び方など基礎を説

明。始め恐る恐る滑っていた園児も、次第にリンクに慣れ、転びながらもコツをつかみ上達。止まり方を教わると、「だるまさんが転んだ」をしたり、遊びをいれて滑りました。イスを使って滑っていた園児も、「イスが無くても滑れるようになったよ！」と笑顔。最後に講師にお礼をして、スケート教室は終了となりました。



もよく見ると建物に彫られている文字の内容とお店の中身が違うものばかりで、昔の建物を取り壊さずに、再利用しているのかなと思いました。

### ニュージーランド研修から学んだこと

繁殖や草、土地について多くのことを学びました。繁殖では人工受精と種牛をうまく使い分け、よりよい遺伝子を受け継がせつつ、なるべくコストを抑える方法を取り入れていました。そして発情についても誰が見てもわかるようにシールを使用しており、発情の確認にほとんど時間を使うことがなく、とても効率的だと思いました。また、私の牧場には様々な条件の土地が混在し、湿った場所や草の成長が不安定な場所、草が育ちにくい場所など多種多様な条件下で放牧地のローテーションを工夫する必要があり、放牧と土地や牧草の関係性がいかに密接であり重要であるのかを実習を通して知ることができました。

### 今後の展望

発情の見つけ方や放牧地のローテーションに対する考え方、繁殖での最大限のコスト削減、子牛の哺乳などさまざまなところで日本と比べて低コストで効率的だと感じました。ニュージーランドの方法全てが我が家で応用できる訳ではありませんが、場合によっては別の牧場ならうまく適応する可能性があるのではないかと思います。この2か月間で得た知識は、自分だけではなく広くたくさんの方にも伝えることが何よりも重要であると思いました。

### まとめ

今回の実習を通して、ニュージーランドの暮らしや文化に触れながら酪農の勉強ができ、20年間の人生の中で最も大きな経験になったと思います。現地で実際に体験することは、ネットで情報を集めるよりも遥かに価値がありました。全く違う考えを持った人達とともに働くことは、今までの常識を改めて考え直すことにつながりました。今まで以上に広い視野をもって実家の牧場で仕事をすることができ、我が家のやり方に疑問を抱いたり逆に長所を見つけたりすることができました。

最後に、今回お世話になったNZの農場の方々、ご支援頂いた別海町ならびに別海町酪農後継者を育てる会のみなさまをはじめ、ご支援ご協力いただいたすべての皆様にこの場を借りて心から厚くお礼を申し上げます。

報告者：農業特別専攻科2年 河島 竜平

### ●【経営科】東北道実績発表大会

1月16日(木)～17日(金)に、東北道学校農業クラブ連盟実績発表大会が中標津農業高校を当番校として中標津町総合文化会館「しるべつ」にて開催されました。

大会は、プロジェクト発表分野Ⅰ類からⅢ類までと、各高校の農業クラブ活動の発表がおこなわれました。分野Ⅰ類は生産・流通・経営に関する発表、Ⅱ類は開発・保全・創造に関する発表、Ⅲ類はヒューマンサービスに関する発表がおこなわれ、本校からはⅠ類とⅡ類、Ⅲ類にそれぞれ1発表ずつとクラブ発表について合計21名が出場しました。どの分野に出場した



出場した生徒連

生徒たちも冬季休業中登校して、資料作成や発表練習などを熱心に準備に取り組んでいました。当日は十勝、釧路、オホーツク8校より生徒が参加し、残念ながら、今回は各発表とも入賞を逃しましたが、参加生徒は今回の大会をとおして、課題解決について取り組んだ成果を発表する経験を積むとともに各研究や農業クラブ活動への取り組みをさらに深めることができた様子でした。

### ●【経営科】現在の進路状況

今年度も卒業が近づいてきました。3年生の進路もほぼ全員が合格もしくは内定を得ており、今年度は、就農を目指すものや酪農関連産業、食品関連産業、建設関係へ進む生徒がみられます。

近年の就職について、求人数が比較的堅調であることもあり、どの生徒も目標通りの就職を叶えることができている。産業教育で培った成果を十分発揮してくれるものと思われま。

今年も含めると酪農経営科の卒業生の就職内定率は10期連続で100%となります。ご支援いただきました関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。なお、詳細は、次のとおりです(1月22日現在)。

#### 【進学】

北海道農業専門学校、ホクレン訓子府実証農場他

#### 【就職】

道東あさひ農業協同組合、トータルハードマネジメントサービス、十勝加藤牧場(乳製品製造)、高玉建設工業株式会社、郊楽苑、(株)リガール特定施設入居者生活介護つなぐ他

# 北海道別海高等学校 酪農経営科・専攻科だより

## 【専攻科】ニュージーランド研修から帰国!

令和元年9月27日～12月2日までの68日間、農業特別専攻科学生2人がニュージーランド(NZ)研修に参加しました。以下はその報告です。

今回の研修では、オークランドから車で2時間程度離れたマタマタのテ・ポイという農場に滞在しました。



空港での出発式

河島の実習先の農場は草地在り65haで放牧地兼採草地として使われており、36のパドックに分けられています。初めは24日間のローテーションでしたが、11月から一部で採草したため24のパドックで放牧し、12月2日までの実習ですが、12月25日に15日間のローテーション



オークランドの街並み

に変えると言っていました。牧場は搾乳牛205頭、育成牛45頭、子牛38頭を飼養しており、NZでは比較的小規模経営の農場になります。従業員はおらず、夫婦2人3脚で農場を営んでいました。1頭あたりの平均乳量はピークで30kgほどでした。NZでは日本と違い、乳価を乳固形分【ミルクソリッド】の割合で算出します。ミルクソリッドの単価は(乳脂肪kg+乳蛋白質kg)で求めることができ、訪問時の生産単価は4.1NZドルでした。日本円に計算すると52円/Lになります。

牛はフリージアン種(ホルスタイン種)やキウイクロス(フリージアン種とジャージー種のF1)が大部分を占めており、残りはエアシャー種が一頭ただけでジャージー種は飼養していませんでした。

子牛の離乳時期は、11月上旬で10月の下旬から朝夕の1日2回哺乳していたものを朝1回に減らし、ストレスをおさえて11月上旬に離乳させていました。



哺乳の様子

生後2カ月を過ぎていた子牛がいれば生後1カ月未満の子牛もいて、子牛によって離乳時期はバラバラでした。

搾乳施設は片側20頭収容のヘリンボーン式スイングパーラーでした。繁殖については10月14日から授精が始まり全体で成績の良い上位約7割に対して人工授精を行い、下位約3割の種牛には(ヘレフォード種)を放って自然交配をしていました。毎朝の搾乳中に発情の確認をし、朝の搾乳後に人工授精師による人工授精が行われていました。それが1ヶ月続きます。10月15日からは2つのグループを1つにし、人工授精がうまくいかなかった牛や、まだ妊娠していない牛のために種牛を放します。それでも受精しなかった5歳以上の牛は、2月に肉用としてハンバーガーになります。



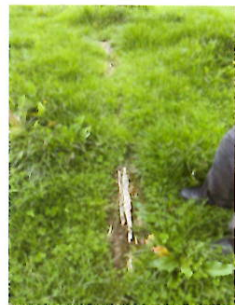
発情発見用のステッカー

実習中の主な仕事は搾乳、搾乳舎の洗浄、子牛の給餌、日中はフェンス張り、農場内の片づけ・清掃、10月中旬からはロールを運んだり草地に化学肥料を撒いたりモアコン作業などをしていました。午後は6時前には終了し、その後は夕食、自由時間となりました。



ロールを運んでいる様子

私の実習した牧場では土地条件が様々で、水はけの悪い場所や草の生育が不安定な場所などがありました。その対策としてパドックのローテーションについては生育の良いパドックを開放し、生育の良いパドックは分割して採食量を調整するなど、放牧地の管理はこんなにも工夫が必要なことが分かり私にとっては、新しい知識となりました。



peatと呼ばれる土壌に木が埋まっていて不安定な場所

ニュージーランドの生活は少し北海道に似ていると感じました。食事はとてもおいしく、外の風景も自然が豊かで草地も勾配が急なところが多い印象を受けました。ニュージーランドの北島は雪がほとんど降ることがなく1年中放牧ができるので、牛舎を必要とせず、一面草地しかないということに驚きました。また生活の中でも節約の考えが根付いていて、暖の取り方は基本的に薪を燃やして部屋を暖めていました。他にもトラクターやその他農機具もかなり長い間使っているものばかりでした。ニュージーランドの町で

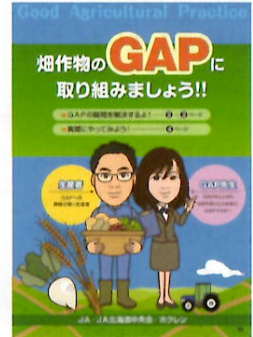
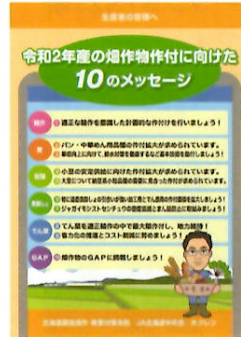
# JAグループ通信

## JA北海道中央会



JAグループ北海道は、「令和2年産の畑作物作付に向けた10のメッセージ」と「畑作物のGAP」についてパンフレットを作成しました。10のメッセージは、①輸作体系の確立、②需要動向を踏まえた生産、③農業諸制度の堅持の3つの観点から、令和2年産の作付にあたって参考としてほしい情報をわかりやすく伝達することを目的としています。畑作物のGAPについては、令和元年度は一部生産者協力のもとプレ実施し、課題や問題点を整理し、令和2年度より本格実施する方針としています。詳細な内容については、今後、連合会やJAを通じてお知らせ

いたします。10のメッセージや畑作物GAPの具体的な内容については、QRコードよりパンフレットをご確認ください。



## JA北海道信連



JAバンクのキャラクター「よりぞう」が、協同組合間連携の取り組みの一環として、初めてコープさっぽろ・ろうきんのキャラクターとともに、11月に札幌市内の保育園を訪問しました。また、12月には、「よりぞう」と「ちよリス」が、岩見沢市、滝川市、旭川市の幼稚園を訪問し、子供たちと交流を深めました。

地域の皆様に、JAバンクをより身近に感じてもらえるような活動に取り組んでいます。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道では、2月4日から開催される雪と氷の祭典「第71回さっぽろ雪まつり」の大通り7丁目「HBCポーランド広場」におきまして、令和元年度 JA共済 全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示いたします。

JA共済連北海道は交通事故のない社会の実現に向けて、多くの観光客の方々にも交通安全の大切さを理解していただき、事故の防止につなげていきます。(写真は、去年の会場の様子)



## ホクレン



ホクレンは、北海道ぎょれんと共同制作したカタログギフト「北の海と大地のギフト」を販売しており、旬の北海道産農畜産物・水産物ならびに、その加工品など北海道産食材の魅力をお届けいたします。

カタログを贈られた方が気に入った商品を好きなタイミングで注文できます。価格は1冊5500円(消費税込み、送料除く)。詳しい内容は「ホクレングリーンネットショップ」のWebサイトで閲覧いただけます。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもごさいますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。





## 第11回 理事会の動き

令和元年12月25日(水)

### 報告事項

1. 組合員の加入について
2. 固定資産の取得について
3. 令和元年度飼料奨励金(農協利用奨励・大口取引奨励)の支出について
4. 令和元年度11月末営農関連実績について
5. 令和元年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る実績について
6. 令和元年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
7. 令和元年度集荷路線除雪について
8. 令和元年度みらい塾修了式について

### 議案

1. リース契約の締結について
2. 令和元営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
3. 令和元営農年度クミカン精算見通し及び令和2営農年度クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
4. 令和2営農年度クミカン暫定取引について
5. 令和2営農年度機械利用組合クミカン取引計画に係る貸越極度額及び供給限度額の認定について
6. 別海町北部地区国営かんがい排水事業について
7. 青年農業者(みらい塾)海外視察研修の実施について

## 第12回 理事会の動き

令和2年1月27日(月)

### 報告

1. 組合員の脱退について
2. 令和元年度12月末財務状況について
3. 令和元年度12月末購買事業実績について
4. 危険物の規制に関する規則の一部改正について
5. 子会社における固定資産取得状況について
6. 農協独自キャンペーンの実績について
7. 「決算処理要領」の一部改正について
8. 「経営定期点検実施要領」の一部改正について
9. 令和元年度12月末営農関連実績について
10. 令和元営農年度クミカン精算状況について
11. 令和2営農年度階層区分について
12. 令和2営農年度信用限度について
13. 令和元年度自給飼料生産性向上対策事業に係る実績について

### 議案

1. 令和元年度自己査定に係る債務者区分判定方法について
2. 資産の償却・引当基準の一部改正について
3. 令和2営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
4. 農業競争力強化農地整備事業・草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備型)・再編整備事業豊原美原地区(施設投資)に係る事業計画について
5. 令和2営農年度特定指導組合員及び月別限度管理組合員(案)について
6. 令和2営農年度クミカン暫定取引について
7. 土地改良事業功労表彰者について
8. 車両リース契約について
9. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて



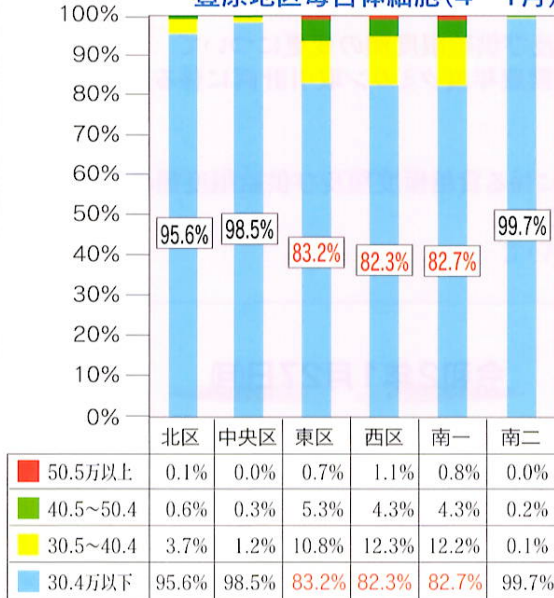
生乳汚染事故を無くそう！

- **抗菌性物質**混入事故……………JA中春別発生件数 **1**件 管内合計では**9**件です。  
(ストレージタンク汚染)
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

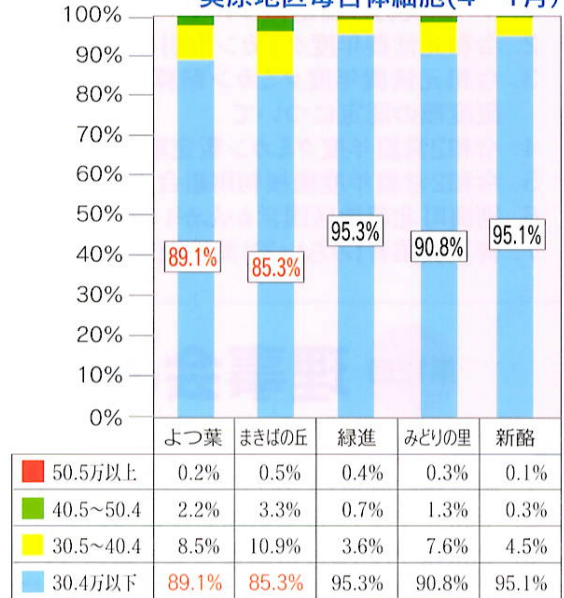
**毎日の安全確認!!**  
**自分のために、消費者のために**

良質生乳生産推進委員会からの標語

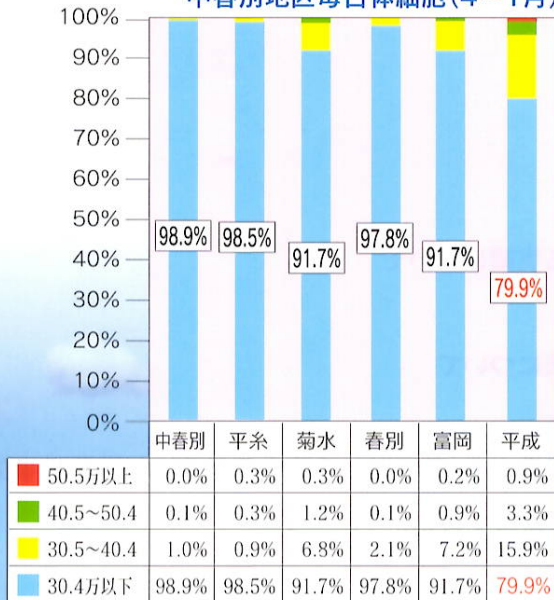
豊原地区毎日々体細胞(4~1月)



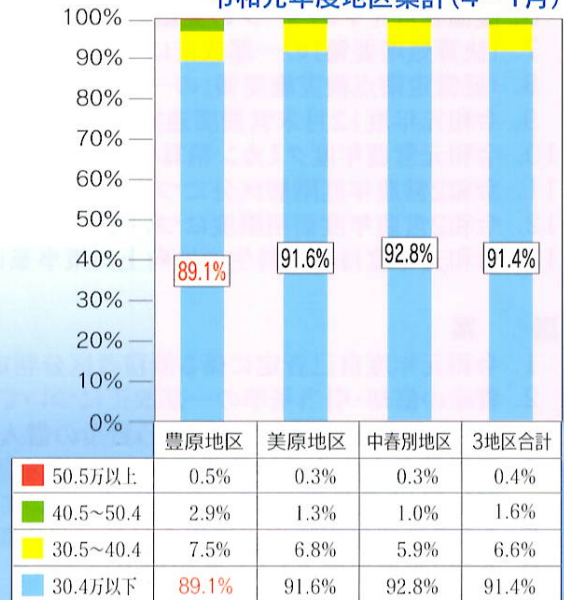
美原地区毎日々体細胞(4~1月)



中春別地区毎日々体細胞(4~1月)



令和元年度地区集計(4~1月)



# 総務省消防庁から 消防団協力事業所表示証の交付を受けました

令和元年度消防庁消防団協力事業所として、1月5日(日)別海消防団出初式において、消防団協力事業所表示証の交付式が執り行わ



根室北部消防事務組合では平成19年4月1日から本制度を導入しており、平成30年度JA中春別が第1号として交付を受けておりまし

れ、西川組合長が出席し、交付を受けました。消防団協力事業所表示制度は、平成18年に総務省消防庁が消防団活動の活性化のために制定した制度で、

この度は、事業所に勤めている職員から消防団員を出しての活動が、所定の基準をクリアしたことで、総務省消防庁より根室管内で初めて当JAが交付を受けました。今後も地域に根差した活動を続け、消防団協力事業所として地域防災体制のより一層の充実に取り組んでまいります。

## 成人式に 手作り髪飾り



今月は上田弥生さん

つまみ細工を長女に続いて次女の成人式に、今年もつまんでみました！

ひとつの小さな布の切り方、折り方でいろいろな花びらからお花ができあがり、その組み合わせは無限大で楽しいです。娘もとても喜んでくれて、「いつの日か花嫁さんになる時にも」とリクエストがあり、楽しみがまたできました。



皆さんの投稿をお待ちしております。ちょっとしたことでも載せてみたいと思うものがありましたら、お気軽に営農振興課・原内まで連絡ください。

### 12月 乳質乳価一覧表

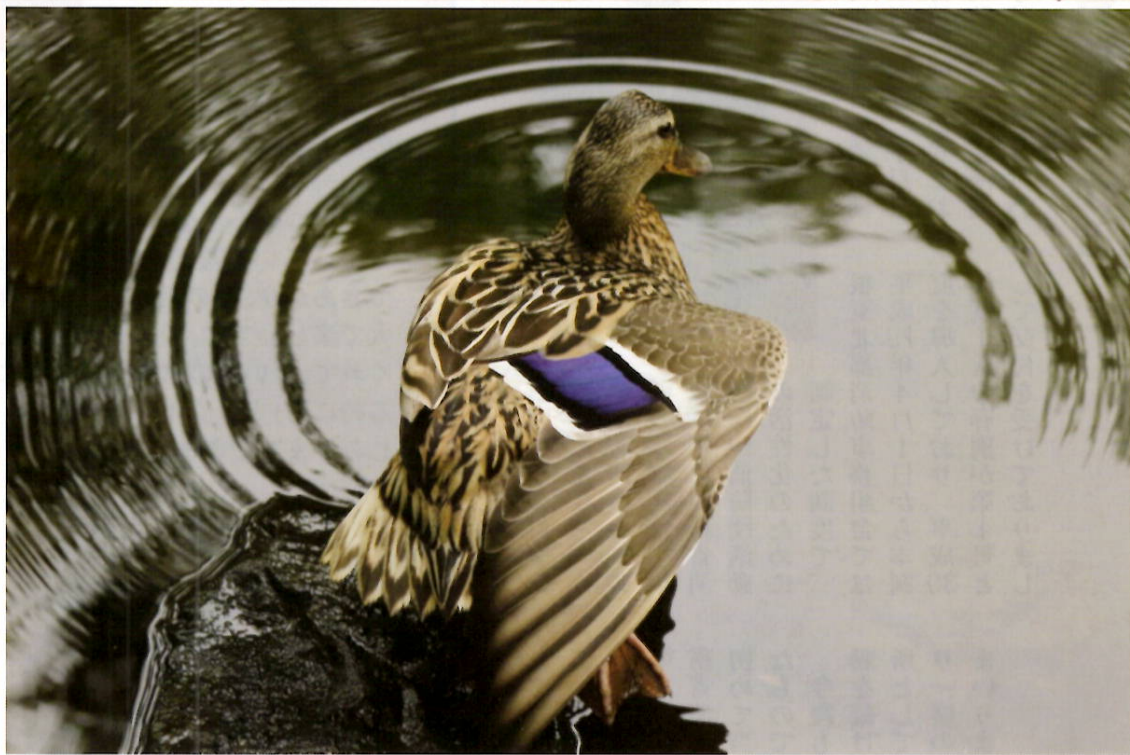
(単位:円/)

			単 価	支 払 額	前 期	年 期	差
乳 脂 肪 分			976.966	39.86	39.18		0.68
無 脂 乳 固 形 分			620.094	54.89	53.92		0.97
生 産 者 補 給 金			6.4910	6.49	6.44		0.05
集 送 乳 調 整 金			1.9450	1.95	1.90		0.05
補 給 金 合 計			8.4360	8.44	8.34		0.10
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	319,265,825.8kg	3.76	3.76	0.00
		ランク2	0	7,691,681.6kg			
		ランク3	-3	141,206.7kg			
	体細胞数	ランク1	2	289,700,047.5kg			
		ランク2	1	19,543,345.5kg			
		ランク3	-2	3,817,956.2kg			
合 計				106.95	105.20	1.75	

### 12月分乳代支払単価

項 目	単価(円)/(kg)%	
乳 脂 肪 分 ①	39円86銭	
無 脂 乳 固 形 分 ②	54円89銭	
生 産 者 補 給 金 ③	6円49銭	
集 送 乳 調 整 金 ④	1円95銭	
脂 肪 率	全道	4.08%
	農 協	4.13%
無 脂 固 形 分 率	全道	8.85%
	農 協	8.79%
成 分 乳 価	全道	103円19銭
①+②+③+④=⑤	農 協	103円26銭
乳 質 乳 価 ⑥	全道	3円76銭
	農 協	3円77銭
乳 代 合 計	全道	106円95銭
	農 協	107円03銭
⑤+⑥	差異	0円08銭

# 組合員の広場



作品名「丸山公園のマガモさん」 上田弥生さん



爺婆（じじばば）は育ちし孫らを語りつつ  
今日も集いていきいき体操

いきいきとはつらつまでもいかずとも  
皆なで伸ばす健康寿命

童謡を歌って歩くフマネット  
笑顔はじけるいきいきデーは

○美原高齢者健康教室いきいきホーム  
「いきいき」では毎週金曜日、午前10時からお昼12時  
まで。旧美原小学校の体育館において「いきいきデー」  
を行っておりますので、興味のある方は一度いらして  
ください。地域外の方も可です。

組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など  
多数の作品を募集しております。  
営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。